



監事への上期監査資料提出 「3M事業23」の実行を決定

理事十一名(一名欠席)、監事四名の出席のもと、四つの協議事項を審議した。協議内容並びに結果は次のとおり。

■協議事項

協議一
平成二十三年度上期仮決算状況と決算資料の監事への提出

▼平成二十三年度上期の業務執行状況と仮決算状況をまとめた「平成二十三年度上期業務報告書」の監事会への提出を決定。

協議二
3M事業23の申請受付並びに理事と組合間の利益相反取引の承認、事業資金借入事業規模の変更

▼生乳需要期対応酪農経営向上対策事業実施要領に基づき十月末日までに申

し込みのあった申請内容を審査した結果、三十四戸、乳用初妊牛二百一頭を選定し、当初計画頭数二百頭から事業頭数規模を二百一頭に変更した。

しかし、この事業資金の借入総額は変更しない範囲で資金調達し、この借入にかかる担保保証は変更しないことを決定した。

▼この事業申請には理事者三名が含まれ、理事会運営規則第七条一項の別表(役員に関する事項)に掲げる「理事と組合間の利益相反取引」かつ貸出金貸出規程第十条(理事に対する貸付)に対する承認を決定した。

協議三
非常勤理事による「3M事業23」の乳用初妊牛直接買い付けに伴う酪農ヘルパー一名派遣利用経費相当額の組合負担

▼3M事業23にかかる理事による現地

日々徒然



かがやき

十月二十九日、三十日とひろしまフードフェスティバルが開催された。広島最大の「食の祭典」とあって、県内外から多くの特産品の農畜産物や食に関わるイベントが行われ、多くの人で賑わった。広酪も牛乳、乳製品・アイスクリーム等の販売促進を掲げ、職員らは声を張り上げ店頭販売にあたった。

今年は、広酪メンバーズクラブからの参加要望を受けて、消費拡大に加え、TPP交渉参加断固反対運動の一環として、対応スタッフ全員がオリジナルトレーナーを着用し、一般消費者へのビラ配布など、TPP反対運動を展開した。将来に向けて酪農業を生業とする後継者として、「広島県の酪農全滅」との試算を跳ね除けるための自ら率先した積極的な活動となった。

雨天の中、傘もささず懸命に言葉添えて、ビラを配る背中には、酪農業で食べていくことへの力強さと懸命さが伺えた。医療関係者からは「私もTPP反対」、「TPP反対頑張つて」などの声も複数人から聞かれ、農業と経済の問題ではなく、金融・保健・医療・地域と多方面にわたる影響を与えることの理解が浸透しつつあるようにも思えた。ある消費者は、新谷弘実著書「病

第1回	平成23年11月下旬	48頭
	十勝管内(和田職員)	
第2回	平成23年12月上旬	70頭
	十勝管内(岩竹理事、櫻木職員)	
第3回	平成24年1月中旬	33頭
	釧路・根室管内 (温泉川理事、大島職員)	
第4回	平成24年2月上旬	50頭
	豊富・北見管内 (道下理事、中山職員)	

買い付けにあたっては、理事の酪農従事作業からの離脱によって、酪農ヘルパー利用料金の発生や酪農ヘルパー派遣が叶わなかった場合に残留従事者(家族等)の過重労働等を配慮する観点から、酪農経営に携わる非常勤理事が3M事業の買い付けに従事する場合には、酪農ヘルパー要員の一人派遣相当額一日当たり一万六千円を組合負担として支給することを決定した。

なお、この支給は組合の定める旅費規程とは別に支給する。

▼現地買付けの予定は次のとおりであり、詳細は全酪連と調整。
(一)内は購買予定者。

※今回、理事者三名が現地買付けに従事するが、この買付けにおいて理事者自らが利用する対象家畜の買い付けは行えないように、買い付け時期と理事選定を行った。

協議四 酪農ヘルパー事業運営規程の一部変更

▼酪農ヘルパー利用組合員から、現行の夕朝セットのヘルパー派遣形態によらず、「夕方」もしくは「朝方」の何れか一方に限るヘルパー派遣利用の要望が寄せられた。これを受けて、酪農ヘルパー運営規程第六条を一部変更し対応することを決定した。

▼主な改正内容は、現行の酪農ヘルパー業務を夕刻及び翌朝の業務を一単位とした対応について、これら業務基準によらず、利用組合員の搾乳回数が専ら常態化(朝のみ、夕のみに何れか一つ)し、事業推進課課長若しくは事業推進課課長補佐が確認した場合は、その搾乳業務形態を一単位とみなし、その利用を認めることが出来るものとする。但し、この形態の派遣に限って

報告事項

は、利用組合員からの指定日派遣の受けは行わないものとする。

▼なお、そのヘルパー業務委託料並びに利用料金は通常料金の六十%(半額の二割増)と決定した。

- 一 TMRセンター統合に向けた先進地視察
- 二 リース事業の事務取り次ぎ
- 三 酪農就学金融制度の創設を求める要請書の提出
- 四 中国生乳販連の三カ年計画の検討着手
- 五 中国生乳販連の乳質改善目標値に対する平成二十三年度上期成績の状況
- 六 経営上重要な契約(集合動産譲渡担保契約)に関する取り扱い
- 七 市乳配送業務委託業者運転手の不祥事発生と対応
- 八 3M事業23借入に関する手続き

気にならない生き方」に「牛乳は錆びた脂」と数年前にベストセラーとなったことに対して、「なぜ、これに対して抗議や謝罪広告を出させなかったのか」と物凄い剣幕で訴えられた。

▼これに対して、生産者団体として上部組織に全国的な抗議活動を求め、同団体から質問状や抗議活動を行ったことを話したが、その方が該当のテレビや新聞などのメディアに触れなかったことから、「言われればなしで、何もしていない」と納得は得られなかった。しかし、その後も根気強く、その反対行動を数分間説明し、加えて、「その情熱をもって、是非これからも酪農を応援して下さい」と呼びかけ、「熱意は分かった」と笑顔で別れた。

▼理解醸成活動を通じて、十分な理解が得られれば、マイナスの先入観から脱し、逆にプラスに向けた応援団として加わって貰えることが出来ることを再認識した。それが人から人へ伝わり「草の根の活動」として発展する。

▼TPP交渉反対運動にあたっても同様に、メディアからの情報だけでなく、地域の身近な人の生の声による信頼と説得力は高いものと思つた。

▼一人ひとりの小さな活動を大きなうねりに変え、身近な活動をもって、消費拡大活動や酪農理解醸成活動につなげていきましょ

